

令和2年度がん対策事業について

I 予防の強化と早期発見の推進

1 がんにかからない生活習慣の確立

① (1) とやま快眠習慣サポート事業

I C T機器を活用して睡眠時間や睡眠の質等を測定し、睡眠満足度が低い要因や改善方法について分析・評価するとともに、企業人事労務担当者向けのオンライン講習会を開催し、改善方法等を広く普及・啓発することにより、メタボリックシンドロームの背景にある睡眠満足度の向上を図る。



(2) 野菜をもう一皿！食べようキャンペーン

「野菜の日」(8月31日)を契機として、家庭における野菜摂取の目標(1日350g)の達成を目指し、県内のスーパーや八百屋、コンビニエンスストアと連携して、野菜摂取促進を普及・啓発するとともに、今年度から新たに、企業対抗で野菜摂取を習慣づけるキャンペーンを実施する。



① (3) とやま美味しい減塩推進プロジェクト

健康意識の有無にかかわらず減塩できるよう、スーパーや社員食堂等と連携し、利用者に伏せて惣菜やメニューの減塩を実施するとともに、実施前後に利用者の味の満足度の変化等を調査し、“少しずつ減塩すれば気にならない”という認識を普及・啓発することで、県内の減塩の取組みを促進する。

(4) たばこ対策

① 禁煙及び受動喫煙防止に関する普及啓発

(a) 世界禁煙デー・受動喫煙防止啓発ポスターの配布、掲示

(b) 普及啓発物品の貸出し・配布

- ・タペストリー(世界禁煙デー、受動喫煙防止、受動喫煙防止ステッカー紹介)
- ・のぼり旗
- ・ビブス
- ・受動喫煙防止リーフレット

(c) 事業主を対象にしたセミナーの開催

② 禁煙治療に保険が使える県内医療機関の紹介

県健康課ホームページにより紹介(一般社団法人日本禁煙学会ホームページへのリンク)

③ 改正健康増進法への対応

令和2年4月1日から全面施行された改正健康増進法の円滑な運用のため、昨年度より、説明会等の開催や、周知啓発、体制整備を行っている。

- ・受動喫煙防止対策推進連絡会（令和元年10月）や県内4カ所での事業者向け説明会（令和2年1～2月）の開催
- ・県内施設等への法律の周知用リーフレットの配布や受動喫煙防止啓発物品の配布
- ・県内高等学校、中学校、特別支援学校等への中高生向けの受動喫煙対策リーフレットの配布
- ・喫煙専用室等の基準適合性に関する相談指導のための測定機器を各厚生センターに配備



(5) 肝炎対策

① 広報・報道等

肝臓週間(7月27日～8月2日)に併せて、県内包括連携協定企業の日本郵便211局でのポスター掲示や、県広報テレビ「こんにちは富山県です」放送等により、肝炎を正しく理解いただくよう普及啓発を実施

また、令和2年8月1日には、日本肝臓学会が「肝がん撲滅フォーラム2020」等を開催

② 職域における肝炎ウイルス検査受検勧奨の実施

令和2年10月～11月に健康増進センター、北陸予防医学協会において、健康診断を受診された方を対象に肝炎ウイルス検査の受検勧奨を実施

③ 肝炎ウイルス検査の実施

県厚生センター・支所及び富山市保健所や県内41医療機関において肝炎ウイルス検査を実施

④ 肝炎重症化予防の推進

県内市町村や厚生センターにおいて、肝炎ウイルス陽性者の受診状況等を確認し、適切な医療を受けられるよう勧奨

また、市町村や厚生センター等が実施した肝炎ウイルス検査にて陽性となった方が、医療機関で精密検査を行った場合に、精密検査費用を助成

⑤ 肝炎医療費の助成

(a) 肝炎治療特別促進事業（所得に応じて自己負担額1万又は2万円）

抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療、及び核酸アナログ製剤治療）に係る医療費を助成

(b) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（自己負担額1万円（所得制限あり））

県が指定する医療機関においてB型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変治療のために1年間に4回以上入院された方の医療費を助成

⑥ 肝炎医療コーディネーター研修会の開催

(a) 富山県肝炎医療コーディネーター養成研修会（H24～）

- ・地域で中心となり肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨等の支援を進める人材を養成

(b) 富山県肝炎医療コーディネーター継続研修会（H30～）

- ・肝炎医療コーディネーターの継続的な技能の向上と相互の連携の強化



R1.8.30 養成研修会の様子

2 がんの早期発見体制の強化

(1) がん検診受診に関する普及啓発

○啓発イベントの実施

各種のイベントを活用した啓発活動を実施

- ・がん征圧月間～ピンクリボン月間

「越中とやま食の王国フェスタ 2020 秋の陣」において、がん検診啓発用ブースを設置して普及啓発を実施予定

日 時：令和2年10月31日（土）、11月1日（日）

場 所：テクノホール（富山産業展示館）

内 容：がん検診啓発ブースを設置、乳房触診モデルの展示やがん検診啓発物品の配布等（新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じて実施）



がん検診受診促進シンボルマーク



(2) 職域におけるがん検診受診率向上のための取組み

① がん検診受診率向上出前セミナーの実施

健康経営を念頭においた企業のがん検診受診率向上を目指し、企業が従業員を対象としたセミナーを開催する際に県が講師を派遣し、企業におけるがん対策の推進を図るもの。

※講演テーマは、①がん全般に関すること（予防や検診、治療など）、②仕事と治療の両立支援に関すること、③がん対策に取り組む企業の好事例等に関すること、④がん経験者やその家族による体験談以上の4つから選択

② がん予防推進員による普及啓発

「がん対策の推進に関する協定」締結企業（17社）の社員でがん検診の重要性をPRするがん予防推進員を養成（令和2年10月時点555名）

(3) 市町村のがん検診受診率向上に向けた取組み

節目検診・重点年齢検診推進事業

市町村の節目年齢検診（5歳毎）や重点年齢検診（胃がん：50代のうち節目を除く2回、乳がん：40代のうち節目を除く2回、子宮頸がん：20～30代のうち節目を除く4回）における受診料軽減を支援するもの。

(4) 女性がんの予防・早期発見に向けた普及啓発

① 施設のピンクライトアップ

10月のピンクリボン月間に合わせて、県有施設等のピンクライトアップを実施

実施場所：富岩運河環水公園、県庁前公園、インテック本社ビル（株式会社インテックによる実施）



② 啓発活動

- ・10月のピンクリボン月間に併せて啓発物品や県作成リーフレット等を作成し、関係機関へ配布
- ・県ホームページに新たに、乳がんに関する普及啓発ページを作成



(5) がん検診受診率向上に取り組む事業所の好事例の横展開

社員へ啓発している事業所や、がん検診受診のための休暇制度の導入、勤務時間中の検診受診促進等に取り組む事業所の好事例をリーフレットにまとめた「企業におけるがん対策のススメ」を活用し、がん検診受診の必要性等を啓発



(6) 県立図書館とのコラボによる「がんに関する展示」

9月8日（火）から28日（月）まで県立図書館とのコラボ企画として、「がんに関する展示」を実施。県で作成しているパンフレットや県立図書館に所蔵されているがんに関する図書を展示し、がんに関する普及啓発を行った。



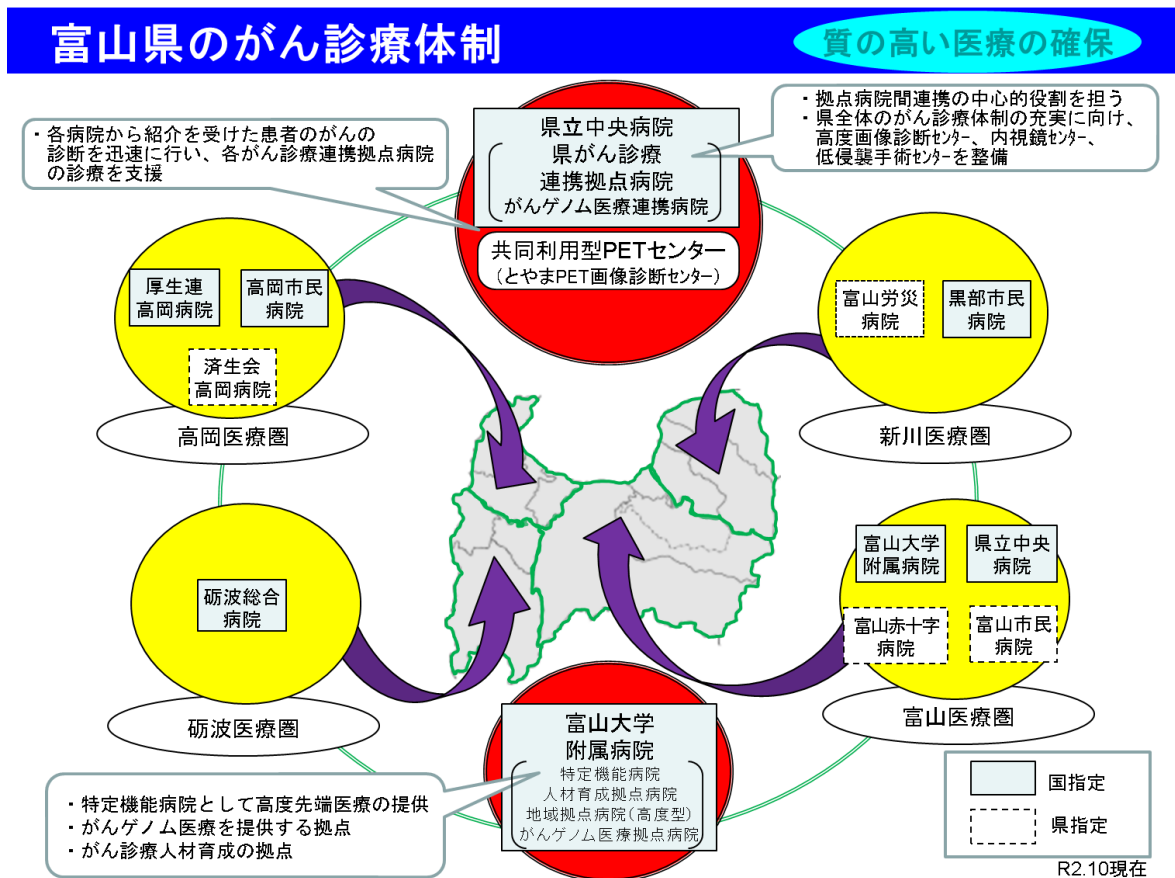
Ⅱ 質の高い医療の確保

1 質の高い医療が受けられる体制の充実

(1) 富山県のがん診療体制の強化

- ① 本県では、医療圏毎の医療機関が連携して、限られた医療資源及び機能を相互補完している。すなわち、研修会の開催等の人材育成やがん情報の収集と発信等を始めとする患者支援体制の構築に複層的に取り組むことにより、県内の各病院の機能を“点”から“面”として機能させ、県全体のがん医療水準の向上を図っている。
- ② 専門的な機能としては、県がん診療連携拠点病院である県立中央病院と特定機能病院の富山大学附属病院が、2次医療圏の地域がん診療連携拠点病院と連携し、難治性がん、特殊ながん、小児がん等の治療を対応し、富山労災病院はアスベストによる悪性中皮種等の診断を行っている。
- ③ がんゲノム医療を提供する医療機関として、富山大学附属病院が「がんゲノム医療拠点病院」に、富山県立中央病院が「がんゲノム医療連携病院」に指定されている。

(参考 富山県のがん診療体制)



(2) がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上

認定看護師の育成支援

※県内のがん5分野における認定看護師数91名 (R1.12月現在)

(3) がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応

がんゲノム医療拠点病院である富山大学附属病院や、がんゲノム医療連携病院である富山県立中央病院において、がんゲノム医療が提供できる体制が整備されている。

2 調査・研究の推進

平成 25 年 12 月に公布された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」※を平成 28 年 1 月 1 日から実施している。

※全ての病院及び申請に基づき県知事が指定した診療所において、がん罹患等に関する届出が必要となる制度

(1) 全国がん登録による罹患数(2017 年)

富山県罹患数：9,316^{※1} 全国罹患数：977,393^{※1}

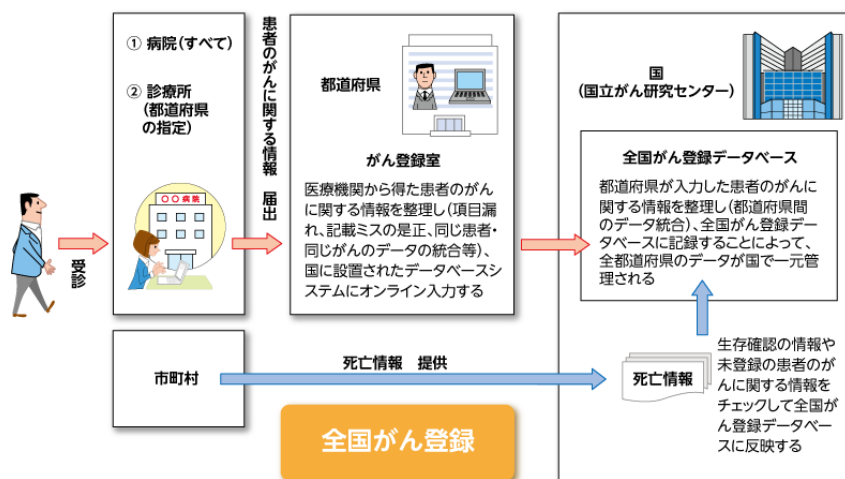
※1 上皮内がん除く(出典：平成 29 年全国がん登録 罹患数・率報告)

(2) 実務者講習会の開催

県では、実務面での習熟度の向上や制度周知のため、病院等の実務担当者向けの講習会を開催

- ①日 時：令和 2 年 11 月 14 日（土）
- ②場 所：富山県立中央病院 診療棟 5 階ホール
- ③講 師：福井県立病院 病理診断科主任医長 海崎 泰治 氏
(演題「病理診断の基礎について」)
- ④その他：県診療情報管理研究会主催（県後援）

【2016 年 1 月から開始した全国がん登録の仕組み】



出典：国立がん研究センターホームページ がん情報サービス

Ⅲ 患者支援体制の充実

1 がん患者の支援体制の充実

(1) 富山県がん総合相談支援センターの運営

設置：平成25年9月2日（委託：県社会福祉協議会）

趣旨：がん患者及びその家族からの医療、心理、生活・介護、就労などの様々な相談に対応するとともに、がんに関する様々な情報を提供する総合相談窓口として設置

業務：①相談／平日9時～16時 土13時～16時

②情報提供

③ピアサポーター養成・育成・活動支援

④患者等の交流支援 等

相談員：看護師4名により対応

	令和元年度	令和2年度
相談	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,102件 看護の日「出前相談」 働く人の日曜相談会（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> 相談対応 働く人の日曜相談会（年2回）
情報提供	図書 約400冊（雑誌含む） ※図書貸出 30冊 小冊子（約100種類） センターホームページ 随時更新 ポスター・チラシ配布（病院・自治体） 県立図書館企画展示 がん情報とやま 改訂支援 ヘルスボランティア等への講演 等	図書 約400冊（雑誌含む） ※図書貸出等 小冊子（約100種類） 県立図書館企画展示 「がんに関する展示」 ※がん総合相談支援センター活動紹介展示 「がん情報とやま」の改訂支援 ヘルスボランティア等への講演 等
がんピアサポーター活動 養成・育成活動支援 がんピアサポーター養成 目標155名	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーター養成講座9回 修了者23名 活動登録者 90名（H31.4月現在） ピアサポーターフォローアップ研修4回 受講者108名 ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）：12回 ※参加者 154名 ②拠点病院（患者サロン）：44回 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合、富山赤十字、高岡市民、厚生連滑川、富山市民、済生会高岡にて実施 ※参加者 334名 ③AYA世代交流サロン「Friend」：2回 ※参加者 19名 ④グリーフケアの会：5回 がんで大切な人を亡くされた方の悲嘆、喪失感等の気持ちに寄り添い支援を実施（参加者23名） ⑤がん教育での講師 自らの体験と命の大切さを語る 等 ※富山市立上滝小学校、富山市立堀川南小学校、県立高岡聴覚総合支援学校、県立いずみ高等学校の4校で実施 ※参加者 295名 ⑥がんピアサポーターによる講演 ※がん検診受診率向上出前セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーター養成講座開始（12名参加） 活動登録者 113名（R2.4月現在） ピアサポーターフォローアップ研修（年4回） ピアサポート活動 <ul style="list-style-type: none"> ①センター（交流サロン）11回 毎月第4土曜日 13:30～15:30 ②拠点病院（患者サロン） 黒部市民、県中、富大、厚生連高岡、砺波総合、富山赤十字、高岡市民、富山ろうさい、富山市民、済生会高岡にて実施 ③AYA世代交流サロン「Friend」：4回 ④グリーフケアの会（5回開催） ⑤がん教育での講師 自らの体験と命の大切さを語る 等 ⑥がんピアサポーターによる講演 ※がん検診受診率向上出前セミナー ※企業等が開催するセミナー等での講師 ※健康づくりボランティア等への講演
講演会	<ul style="list-style-type: none"> 小児・AYA世代のがん講演 R1.10.9（水）参加者51名 	<ul style="list-style-type: none"> 小児・AYA世代のがん講演 R2.10.17（土）
患者会支援	<ul style="list-style-type: none"> 随時（患者会代表者との連携） 	<ul style="list-style-type: none"> 随時（患者会代表者との連携）
他との連携	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携 県立図書館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点病院相談支援部会への参画 拠点病院相談員情報交換会開催 拠点病院相談員研修会に参画 国・県の労働関係部局との連携 県立図書館との連携

(2) 小児・AYA世代のがん講演会の開催

小児・AYA世代（思春期世代と若年成人世代）のがんを理解するための関係者講演会を開催

日 時：令和2年10月17日（土）14:30～17:00

場 所：富山県総合福祉会館6階研修室

主 催：社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県がん総合相談支援センター（県委託事業）

対象者：AYA世代のがん治療にかかわる保健・医療・福祉関係者および関心のある方

内 容：①シンポジウム

「小児・AYA世代のがん患者と家族への支援の輪を広げよう」

シンポジスト：富山赤十字病院 尾崎 淳氏

富山県立中央病院 中空 真由美氏

AYA世代がん体験者 樋口 麻衣子氏

コーディネーター：富山大学附属病院 野村 恵子氏

②講演 「AYA世代がん患者のリアル」

NPO 法人がんノート代表理事 岸田 徹氏



R2.10.17 小児・AYA世代のがん講演会の様子

(3) 県内10か所のがん診療連携拠点病院における相談

① がん相談支援センター相談実績 5,249件(令和元年度)

② 長期療養者就職支援相談窓口の設置（富山労働局・ハローワーク）

富山労働局、富山ハローワーク等とがん診療連携拠点病院と協定を締結し、拠点病院等において、出張相談窓口を開設し、がん患者等の再就職を支援している。

開設場所：県立中央病院(平成28年7月～)

富山市立富山市民病院（平成29年3月～）

富山大学附属病院（平成30年9月～）

(4) 産業保健総合支援センターと連携した就労支援

産業保健総合支援センターの両立支援員を講師として、がん対策出前セミナーを開催し、がん治療と仕事の両立に関する啓発を行う予定。

テーマ：「変わってきたがん治療と仕事と治療の両立」

(5) 治療と仕事の両立相談支援

富山労働局の富山県地域両立支援チームに参画し、治療と仕事の両立支援に関する事業等について情報共有している。また、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター等とハローワークが連携し、治療と仕事の両立に関する相談支援を実施している。

(6) がん患者在宅療養支援体制整備事業

① がん学術セミナーの開催（県医師会委託）

がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できるよう、連携した在宅療養体制の構築を図るため、中心となる在宅緩和ケア等に関する医師向けの研修会を実施するもの。

対象者：医師、保健師、看護師等コメディカル

開催時期：今年度開催予定（時期未定）

② がん患者の在宅療養支援のための事例検討会等の開催（厚生センター）

各医療圏毎に在宅緩和ケア関係者による事例検討会等を開催する。

③ がん患者への相談支援の充実にに向けた冊子の作成

令和2年度版がん情報とやまの発行



<参考> がん患者の在宅支援体制図

